

## 湘南桂台地区の計画づくり

### 地区の特性

湘南桂台地区は、栄区の東南部、鎌倉市との市境に接する丘陵地にあり、周囲には円海山周辺の森があり豊かな自然に囲まれ、昭和40～50年にかけて開発分譲された戸建て住宅を中心とした住宅地です。教育施設や福祉施設、広幅員の街路や緑道、大小9つの公園等がいずれもよく整備され、豊かな住環境が40年近く維持されてきていますが、高い定住率と持家率により近年は高齢化率が50%に近づくなど、急速に街全体の活力が失われかけていることが危惧されています。



○丘陵地に戸建て住宅が広がる湘南桂台地区の街並み



○色が足りない街路樹のあるメインストリートの富士見通り

### 地区の緑の魅力

丘陵地の緑を活かした多くの公園が地域内に配置され、これらを結ぶ緑道の整備等、緑に配慮した開発で豊かに育った緑と緑道が、まちの骨格となり、表情をつくっています。住民の緑に対する意識は高く、各家庭は緑や花を大事にしています。地域全体として俯瞰したときにも緑が多い住宅地になっています。また、桂台を中心に、花好きな人たちが集まり、オープンガーデンのイベント実施や、公園の花壇づくり等を行っているグループ（3G：Garden Garden Greenbook）があります。また、地域ケアプラザのガーデニング講座の参加者から同施設内の花壇ボランティアが生まれています。まちなかの緑を育み楽しむ住民の活動が既に始まっています。



○環境美化を通じてコミュニティと健康福祉を増進するねらいも

### 地区の緑の課題

沿線の施設、学校、店舗等も巻き込んだマロードサポーター組織を立ち上げ、通りの緑化・美化に取り組んでいますが、夏場の水遣りなど、現メンバーの活動の負担が大きい状況も否めません。活動に関わる仲間を増やすことや、植栽基盤の改善、ローメンテナンスで関わられる植栽を検討し、地区の中心としてふさわしい通りや単調な緑道の植栽の再生を行い、魅力ある緑のシンボルとして蘇らせることが課題です。

### 地区の諸元

地区面積	約 64.4ha（約 1,600 世帯）
用途地域	第一種低層住居専用地域 第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域

まちづくりの既往の計画 栄湘南桂台地区計画

### 計画策定のプロセス

平成25年7月の事業事例の視察後、湘南桂台自治会に「検討委員会」を発足させました。検討会でまち歩きや話し合い、調整池についての学習会、公共施設・民間施設（イトーヨーカドー、セブンイレブン等）の協議を行いました。

当地区は既に緑に関する課題検討を重ねてきた経緯を持つ地区であることから、皆さんの提案をより深めていくことを中心に、「まちを知る」、「緑化イメージづくり」、「計画づくり」の段階に大きく分けて取り組み、節目には地域の皆さんへの広報（自治会広報「桂山」・自治会ニュース、本事業広報「地域緑のまちづくりニュース」）の活動やモデル緑化を行い、意見を聞く機会を設け、計画づくりが進みました。



検討委員会にて持ち寄った緑化提案について協議しています

平成26年3月には、「湘南桂台みどりの会」にて、計画の最終確認を行った後、同3月の湘南桂台自治会の理事会の場で計画の報告を行い、地域緑化計画が確定しました。緑のまちづくりを推進していく団体として、「湘南桂台みどりの会」が立ち上がりました。



葉色が美しい様々な樹種で街角をモデル緑化



モデル緑化と同時に地域緑のまちづくりをパネル展示



検討委員会では毎回議論が白熱しました

## 湘南桂台地区 地域緑のまちづくりニュース 創刊

湘南桂台地区緑のまちづくり検討委員会 2014年1月発行

検討会ではこのように計画づくりを進めています

- 事例地視察（2013.7.17）**  
**「事業のスタートに向けて視察に行きました」**  
 「地域みどりのまちづくり」事業への取り組みをスタートする前に、事業の先行事例地である、戸塚区の「名瀬たかの台」地区へ視察に行きました。地区のみなさんからの取り組みの経緯を伺ったり、地元に置いた戸建て住宅の緑化の様子を案内して頂きました。
- 第1回検討会（2013.8.12）**  
**「皆さんでまち歩きをしました」**  
 皆さんでまち歩きながら、事前に自治会から提案のあった場所や、まちなかの緑の様子を点検しました。またロードサポーター、子ども支援隊員やオープンガーデン等、緑に関する活動があること、緑道がまちなみである一方、空家・空地等の緑の管理面の課題があることもわかりました。また市の担当者から事業制度の説明を聞き、今後の進め方の検討を行いました。
- 第2回検討会（2013.8.10）**  
**「具体的な施策を持ち寄りしました」**  
 創設した整備の候補地（富士見通り、桂台通り、緑道、公園、遊水池、ヨーカドーを中心にしたセンターゾーン等）についての具体的な提案をレポートにし、皆さんが持ち寄りしました。「安心感や緑化が広がるとなる街」「緑道と公園をつないで憩いの空間づくり」「ローメンテナンスで取り組めるもの」等、テーマ、整備内容、今後の維持管理等、幅広い視点で意見が出されました。
- 第3回検討会（2013.10.10）**  
**「緑の育保について検討を深めました」**  
 前回の意見を内容別に整理し、計画づくりに必要な様々な要素が揃いつつあることを確認しました。今回は、定常の維持や育保となる部分の検討を深めることになりました。そして「まちづくり事業」の策定の経緯や解釈について学んだり、湘南桂台ができた当時の写真を発見しながら、計画の原点となるまちの姿を共有しました。
- 第4回検討会（2013.11.12）**  
**「計画の骨格を共有し、整備内容を掘り下げました」**  
 提案内容を地色化したマップを見ながら、計画の骨格を共有しました。また皆さんの意見について、その意図を掘り下げながら理解を深めました。「富士のふく見える」「高齢化が進んでいる」「分譲前は砂漠のような感じだったのが緑化されたら良かった。今のまちの姿の維持」、「緑道がなぜかから坂を越えての取り組みは難しいのでは？」「地域愛の育成、心身の健康や地域との交流促進がメリット」等の計画の方向性についての意見が聴かれました。
- 第5回検討会（2013.12.10）**  
**「イメージを広げ、広域のあり方を話し合いました」**  
 様々な緑化事例の写真を広げ、イメージを広げた後、緑化するよき空間や活動に関する今までの提案意見を掘り下げました。今回は緑化基盤整備の経緯や事業費の概算等を行い、緑の計画内容のとりまとめに入ることとなりました。また地域全体への広域の管理や時期について話し合いました。検討会以外の活動に関しては、事業への協力を依頼したい民間企業や中学校の教職員、近隣の学習会の様子も報告されました。

## 湘南桂台地区の地域緑化計画

### ●緑のまちづくりテーマ

次世代に引き継ごう！  
みんなで築き上げてきたまち、個性のある魅力あるまち  
～緑のまちづくりで瑞々しく再生し、誰もが住みたくなるまち、住み続けたくなるまちへ～

### ●方針



#### 方針1 【再生する緑】

大事に育ててきた緑を活かしながら再生し、さらにまちの魅力を高めます。



#### 方針2 【新たにつくる緑】

現在、緑のない場所や新たにできる家・店舗等には、積極的に緑化を呼びかけ、緑が連なるまち並みをつくります。



#### 方針3 【メインストリートの緑】

メインストリートは、緑の種類や配置を工夫し、統一感と連続性を持たせます。



#### 方針4 【花と緑の拠りどころ】

語らい、憩いの場となる、花と緑に包まれた拠りどころをつくります。



#### 方針5 【花と緑の散歩道】

まちなかの拠りどころを、花と緑の散歩道でつなぎます。



#### 方針6 【生き物のにぎわい】

生き物の住みかや通り道となる緑をつくり、にぎわいを生み出します。



#### 方針7 【仕組み作り・仲間作り】

持続可能な緑の活動の仕組みを模索し、緑の仲間を増やしていきます。

